

きよせ

平成26年(2014年)
8月15日 No.202



発行 清瀬市議会
清瀬市中里5-842
TEL (042) 492-5111 (代) FAX (042) 495-1189
清瀬市ホームページ <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

市議会だより

CONTENTS

- 02…平成26年第2回定例会
承認・可決・同意した主な議案
- 03…「市政を問う」一般質問(要旨)
- 13…提出された議案等の結果
- 15…議会のしくみ
- 16…市議会日誌、第3回定例会の開会予定



承認・可決・同意した 主な議案

平成26年清瀬市議会第2回定例会は、6月9日(月)から25日(水)までの17日間の会期で開かれました。

今定例会は、市長提出議案(条例等)10件、議員提出議案(意見書等)7件、報告1件、陳情6件を審議しました。

提出された議案等の議決結果は、13面に掲載しております。

▼専決処分の報告について(清瀬市市税条例の一部を改正する条例)

改正の理由

平成29年3月31日までに耐震改修を行い、一定の基準に適合する建築物について、2か年度間にわたり、家屋に係る固定資産税額を減額する規定を設けるため条例を整備しました。

▼専決処分の報告について(清瀬市国民健康保険条例の一部を改正する条例)

改正の理由

低所得者の国民健康保険税の軽減措置を拡大するため、国民健康保険税の5割軽減及び

2割軽減世帯の軽減判定所得を引き上げるため条例を整備しました。

▼清瀬市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

改正の理由

平成24年12月に起きました公文書窃取及び放置事件につきまして、管理監督責任を明らかにするため、市長及び副市長に支給している現時点での月額給料額を基準とし、本年7月に支給する月額給料額をこの基準額からそれぞれ10%減額する一部改正をしました。

▼清瀬市道の路線の認定について

認定の理由

私道の寄附受け入れ、開発に伴う無償譲渡等により、新たに市道の路線を認定しました。

清瀬市道3395号線

(中里五丁目、清瀬小学校北側)

清瀬市道3396号線

(野塩二丁目、円福寺南側)

清瀬市道3397号線

(中里二丁目、中里山戸広場南側)

清瀬市道1341号線

(下清戸四丁目、長命寺東側)

▼清瀬市立清瀬第三小学校北校舎大規模改造工事(建築) 請負契約

▼清瀬市立清瀬第二中学校北校舎大規模改造工事(建築) 請負契約

以上2件は、議会の可決を得て、指名競争入札により選定した業者と正規に契約を締結しました。(建築請負工事の予定価格が1億5千万円以上であるため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により議決を必要とするものです。)

▼清瀬市オンブズパーソンの選任について

平成26年6月30日付で、任期満了となる2人のオンブズパーソンの後任に、次の方を選任したいとする議案が市長から提出され、議会はこれに同意しました。

清瀬市オンブズパーソン

関根 靖 弘(継続)

岩崎 昭(継続)

▼清瀬市農業委員会委員の推薦について

平成26年7月19日付で、任期満了となる2人の議会推薦の農業委員会委員に、次の方の推薦を決定しました。

農業委員会委員

松村 俊夫(継続)

森田 正英(継続)

市政を問う



一般質問 要旨

一般質問：議長を除く議員が行政全般にわたり、事務の執行状況、方針等に対し報告・説明を求めること。



清瀬自民クラブ

中村 清治

清瀬市の2040年人口減 少時代対策について

日本の人口は2013年にピークを迎え、その後減少しつづける。本市の人口も約1万人減少し、20〜39歳の女性人口も3200余名の減少が予測される。今、市内では宅地開発の多くが戸建住宅で市内間移住が多い。今後の街づくりに直接声を聞くことが必要と考える。施策を伺う。

子ども・子育て支援新制度 について

清瀬市の人口減少を歯止めするには、少子化対策事業をどれだけ充実させ、子育てしやすい街としての環境整備が欠かせないが、現在、市内私立幼稚園の内、4園が認定子ども園とし、活動は民間主導で進んでいる。清瀬市の幼児教育の重要性と政

策の位置付けとその認識を伺う。
子ども家庭部長 幼児期における教育及び保育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものと認識しています。保護者を含め地域住民にとって身近で関心の高い課題です。幼稚園、保育園等を通じ、義務教育との接続も視野に入れた取り組みをしていきたいと考えています。

新制度の保護者への周知 について

子ども・子育て支援新制度は、平成27年度から運用するとされているが、市町村による、1・2・3号認定区分（幼稚園・保育園・認定こども園・地域型保育）によって認定され、施設の利用先が決まってゆく事になり、保護者の十分な理解を得る説明が求められるがその対応を伺う。
子ども家庭部長 新制度の保護者への周知については、市報、ホームページはもちろんのこと、乳幼児健康審査時の健康センターや児童館など、子どもと保護者が多く集まる機会を捉え、周知していきたいと考えています。



*印は、16ページに用語の解説があります。



清瀬自民クラブ

友野ひろ子

高齢者支援の充実と民生委員の現状について

清瀬市の高齢化率は26%を超えた。今日、核家族が当たり前のようになってしまってきている我が国の現状の中、交友関係や生活環境など個々の事情に応じて解決策を考えていくことが民生委員のお役目だと思う。今、民生委員になっていただける人が不足と聞いている。現状を伺う。

健康福祉部参事 地域福祉の担い手である民生児童委員は現在、定員に5人足りない50人となっています。

5月には市役所1階ロビーでパネル展示等の啓発活動を行いました。今後このような周知活動を行い、委員の皆様が誇りを持って活動に取り組める環境づくりに努めます。

新教育モデルの受け止め方について

文科省は来年度から、今後世界的にも必要な新しい学力を育成する教育モデルをOECDと共同で、開発に乗り出すと表明。新学力とは思考力、創造力、提案力、運営管理能力などを、総合し、複雑で正解のない問題に当たっても解決できる力とされています。

る。どう受け止められるかを伺う。

教育長 様々な知識を活用し課題解決の方法を考える思考力、新たなアイデアを導き出す創造力、自ら考えをまとめ他者を説得する提案力、アイデアを具現化し皆で実行する為の組織運営力が求められます。自ら考え判断、行動しながら生き抜く子どもに誇りをもって育てていきます。

けやきホールの道案内と市の掲示板設置について

清瀬駅北口に「けやきホール」への道案内がない。ホールでのイベントを楽しみに来場される人々のためにも駅北口から、まっすぐ歩いてきて、ここを、左折！という所に、はっきり矢印を。また、市の掲示板も駅北口周辺に設置をお願いしたいという声があるが、本市の考えを伺う。
企画部長 けやきホールへの案内板は、けやき通り沿いの歩道に1か所設置してある状況です。北口階段を降りたところで、けやきホールの案内ができるよう検討します。また、駅周辺での清瀬市のPR方法についても検討していきます。



清瀬自民クラブ

斉藤 正彦

人口減少問題の対応について

人口減による有識者会議推計では、将来的に行政サービスが立ちゆかなくなる可能性のある市区町村は90近くと公表、多くの自治体に衝撃を与える内容だと思う。冷静に受け止める者が定住できるような魅力ある地方都市を目指し、対策を実行に移す必要があるというが対策を伺う。

企画部長 少子化対策だけでなく雇用、経済、社会保障等、総合的に政策が展開される必要があると思います。次期長期総合計画の中でも検討していきたいと考えていますが、まずは、子育てしやすい清瀬を目指し、婚活支援事業等も引き続き実施していきたいと考えています。

企業への参入促進・農業組織の見直し・農業委員会改革の三つを柱とする改革が報告されました。企業参入は先送りされましたが、農協の役割は企業的・集团的経営への道筋を創り、就農者の自立支援を確立していかねばならないが、行政も支援

新たな成長産業となる農業組織について

できないか伺う。
市民生活部長 今後も、農協の改革の動きを注視しなければならぬと考えています。また地域農業と地域社会で活躍する農業委員会の役割と機能が発揮できるよう、これまで以上に住民、産業、農業者、行政等が一体となり連携する仕組みづくりを目指していきたいと考えています。

コミュニティワゴン車の運行について

バスよりも小さなワゴン車を使用し、コミュニティバスが入れなかった狭い道路やバス停から離れた場所に住む高齢者など、利用が期待されています。本市は「きよバス」が運行されていますが、将来的に狭い道路の路線を加え、ルート変更等はできないか伺います。
都市整備部長 交通不便地域の解消に一役買うことは間違いありませんが、地元バス路線との重複問題、タクシー業者への理解を求めると、また定員が9人と少ないことなど多くの課題もあり、今すぐの検討実施は難しいと考えています。



*印は、16ページに用語の解説があります。



清瀬自民クラブ

石井 秋政

新庁舎建設計画の進め方について

労務単価上昇、資材の高騰は、開催決定の東京オリンピック施設建設の見直しなどの事態を引き起こしている。清瀬市では、基本計画、基本設計を経て平成28年度には実施設計に入ることを予定している。厳しい環境に対処するためには、計画の遅れも覚悟しながら、さらに慎重で綿密な協議を進めるべきである。

副市長 庁舎を建設するうえでは市民合意が重要とされています。新庁舎建設耐震化特別委員会は当然ですが、その後、ワークショップや市民説明会、パブリックコメントなどを通じて高齢者、障がい者の皆様を初め幅広い市民の皆様の声を聞いて、進めていきたいと考えています。

防災倉庫の設置について

首都直下型地震の起きる危険性が増すなど、災害への備えの緊急性、重要性は高まっている。避難場所を支える備蓄物資、防災用品を保管する場所の拡充も必要である。

各商店街では、イベントの際に使

用するテントや机、椅子などの保管に悩んでいる。こうした備品は、重要な防災用品である。災害時の提供を条件に共同の防災倉庫を設置することを検討すべきである。

総務部長 災害時には様々な資機材等が必要ですが、現時点では、人命救助が最優先されるとの観点から、その地域が必要としている初期消防資機材等をまず検討していきます。また防災倉庫の設置については、地域における必要性・公平性の観点を含めて今後検討してまいります。

消防団の訓練場所について

消防団は、災害時の地域リーダーである。防災のため日夜訓練に励んでいる。しかし訓練場所の確保に苦しんでいる。場所の確保を求めます。

総務部長 消防団の訓練場所については重要な事項と認識しています。現在、一時借用等している東京都の水再生センター等、貸与先との状況を十分に見ながら、

常設の訓練場所の設置も視野に入れて検討していきたいと考えています。



清瀬自民クラブ

森田 正英

公共施設等総合管理計画策定について

4月に総務省より、この計画策定にあたり指針が示され、速やかに策定に取り組みよう要請されている。細部にわたり作成指針が示されている中、計画期間については、将来の人口や財政見通し等をもとに長期的な視野に基づき検討することや、更新・統合的・長寿命化など現状や課題に対する認識を踏まえた基本的な考え方を示すことへの見解を伺う。

企画部長 まず、公共施設等の詳細な状況把握を考えています。今後、多くの施設で老朽化による設備機器の更新や大規模改造等が必要となることが見込まれ、少子高齢化等社会状況の変化に伴い、施設に求められる機能の変化を検証し効率的に再整備を図る必要があると考えています。

クラウドファンディングによる資金調達について

インターネットなどを使って小口資金を調達する「クラウドファンディング」は、若年層への訴求力やSNSなどを通じて支援の輪が広がる可能性もあり、税金に頼らず施策

を実行できるなど期待できる。見解を伺う。

企画部長 本市も第4次行財政改革実施計画において、広告事業や、ふるさと納税制度の拡充等、市税以外の財源確保を重要な課題と位置づけクラウドファンディングも、その一つの方策として有効であると思うのでこの方法に適している事業があれば、活用を検討したいと考えます。

図書館で読書意欲をかきたてる読書通帳を

借りた本を記録に残し読書の記録がたまっていく読書通帳は、記録がたまっていくこと自体も面白く、何度も図書館に足を運ぶ子どもが増える効果もあり、子どもが本に接する機会を増やすことに有効な施策であると思うが、導入について伺う。

教育部長 読書通帳は、先行している自治体の事例等を参考に検討を考えています。又その他の取り組みは、平成24年に子ども読書の日に合わせ、読書スタンプラリーを行い、記念品に手作りの読書手帳を昨年から図書館の子ども会でオリジナルの読書手帳を子どもたちに配布しています。

*印は、16ページに用語の解説があります。



清瀬自民クラブ

渋谷のぶゆき

サッカーグラウンドの整備について

清瀬は、サッカー場が3面ありますが、現在、帝京高校との問題が解決していないため1面が使用できません。また、清瀬の現在使用可能なグラウンドはナイター設備がありません。問題改善のため、整備を要望します。本市のご見解を伺います。

清瀬の今後の観光政策推進について

日本の人口は2040年頃には2000万人減少すると言われており、多くの自治体が消滅の危機を迎えます。まちがこれからも存続していくために、人気を上げていく観光政策が必要で。

清瀬の今後の観光政策について、本市のご見解を伺います。
企画部長 産業振興、広報、まちづくり

くり、市民活動等、庁内を横断する組織体制を確立し情報の集約と発信を一元化することが効果的であることから清瀬市シティプロモーション推進本部を立ち上げました。本市の魅力と価値を一層、高めていく仕組みづくりに取り組みたいと思います。

金山公園駐車場の有料化について

金山公園付近は、休日は驚くほど多くの方々がバーベキューを楽しんでいます。そのため、駐車場の不公平な長時間使用や、ごみ処理の問題が出ています。

維持管理に協力いただく意味でも駐車料金は頂くべきだと思います。本市のご見解を伺います。

都市整備部長 駐車場の有料化は以前、河川管理者の都と協議し非常に厳しいとの回答でしたが、バーベキューのごみ放置の問題もあり、実施の方法によっては可能であると回答をもらいました。収支のバランスを含め民間の事業者へ相談し併せて調査、研究をしていきたいと考えています。



清瀬自民クラブ

渋谷けいし

医療文化都市構想について

本市は、南部地域の医療施設群を中心として、それらの世界医療文化遺産への登録を目指しているが、その実現に向けて今後のまちづくりの方向性と財源の確保、具体的な施策展開について伺う。

企画部長 世界文化遺産の推進は、シティプロモーション推進本部の機動力を生かし、所管は企画課が務めます。関係機関の機運を上昇させることが大切と考え、世界各国から研修にきていることから、世界中の共感が得られる形で財源確保も研究していきたいと思えます。

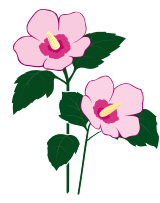
清瀬市民としてのアイデンティティの醸成を

今後、市民協働でまちづくりを推進するために、市民はもとより、市職員や小中学校の教職員が、自らが住むまち、働くまちへの愛郷心を持ち、アイデンティティを醸成することが肝要と考えるが、これらの取り組みについて、具体的な施策展開と今後の展望について伺う。
総務部長 若手教員に向けた清瀬教

超高齢化社会へ向け医療介護福祉施策の再構築を

今後、高齢化が加速し、それに伴い医療・介護福祉分野で様々な課題や問題が指摘されている。市民が安心して、健康に生活できるよう医療・介護福祉施策の再構築が必要と考える。市内の大学や福祉施設等市が連携し、今後人材確保が困難になると予想されている介護分野の人材育成の取り組みができないか本市の考えを伺う。

健康福祉部参事 団塊の世代が全て後期高齢世代に入る2025年に向けて「医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括システム」の構築に努めます。元気な高齢者には介護予防の観点も含め、介護の支援者側の立場を担っていただくことも考えていきます。



*印は、16ページに用語の解説があります。



日本共産党

佐々木あつ子

暮らしを壊す「医療・介護 総合法案」には反対を

政府・与党は、自己責任論を押し付け、社会保障を変質させる医療・介護総合法案を強行採決しました。重症病床の削減や介護保険の要支援者への給付は、行き場のない高齢者を多く生み出すことにつながり、とても容認できません。

市長の見解を求めます。

市長 地域包括ケアシステムのモデル事業として医療、介護、住まいを提供するサービス付き高齢者住宅が8月にオープン予定で期待しています。健康で生き生きと安全・安心に暮らせるまちづくりを目指し、健康づくり、介護施設等必要な対策はこれから推進を図りたいと思います。

学校給食の民間委託の拡大 はやめるべきです

学校給食は、学校の営みのなかで児童を中心に栄養士と調理員との連携が欠かせません。しかし、民間委託では法律上その保証はありません。本市は、突然来年度から三小と四小にも民間委託を拡大にする方針ですが、すでに実施している清小、芝

小の評価について伺います。

教育部長 委託校においては、「学校給食運営協議会」の協議等を踏まえ、学校で評価を行い、清瀬市に報告します。清瀬市では、運用基準に則り、改めて業者選考を行い、小学校1校について、本年度から新たな業者へ変更しました。

戦後の教育を覆す教育委員会制度の改悪に反対を

教育委員会制度の改悪は、全国の教育委員への調査でも5割以上が「有効ではない」と回答しました。改悪は、戦後の教育が政治と切り離し、自主性・独自性を順守してきた教育委員会制度を覆すもので容認できません。

教育長の見解を求めます。

教育長 現制度が確立した70年前と比べ、家庭環境や社会情勢等、世の中の状況が大きく変化しました。改正は新たな教育の一步を踏み出すきっかけとなり、市長部局と教育委員会とが協働し、ともに全力で取り組むことが教育の未来を開いていくと確信しています。



日本共産党

深沢まさ子

市庁舎は建替えありきでなく 新たな課題検討を

資材の高騰や人手不足による入札の不調、農協移転後の跡地購入費用など、当初の概算から建設費用が全体に膨らむことは避けられません。工事の目的は耐震化であり、また厳しさを増す市民生活への支援策も必要です。建替え先にありきではなく、工期も費用も少なく済む大規模改修の再検討をすべきです。

本市の見解を伺います。

企画部長 現庁舎で不足している床面積を建替えの場合と同じ程度確保する場合、改修工事では、改修他に別庁舎の建設と、仮設庁舎も必要になります。その費用を考えると、ほとんど差がなく、数十年後には再度、整備の問題を検討することになることから、建替えを選択しました。

中里団地建替え後の未利用 地に特養ホーム増設を

清瀬市の特養ホームの待機者は24人と多く、要介護4、5の方が約半数を占めています。家族介護では限界があり、特養ホーム増設は待ったなしです。

中里団地建替え後の未利用地に特養ホームの増設は可能です。本市の見解を求めます。

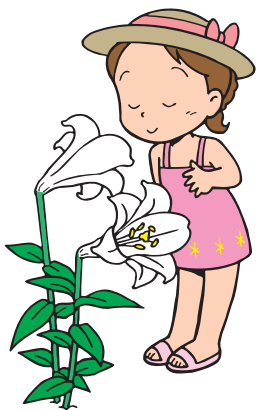
健康福祉部参事 都営住宅未利用地へ特養ホームを増設する考えは今のところ持っておりません。

せせらぎ保育園前の横断歩道に信号機の設置を

せせらぎ保育園前の小金井街道は、調査したところ、交通量が多く、朝夕の送迎時の横断が非常に危険な状態です。

横断歩道に手押し信号機を設置するなど、安全対策を求めます。

都市整備部長 保育園が開所し、横断歩道を渡る住民に加え、保護者や園児等の横断が増えていることから改めて市長より東村山警察署長に対し強く要望いたしました。また、併せて、注意喚起の看板等の設置を都へ要望していきます。



*印は、16ページに用語の解説があります。



日本共産党

宇野かつまる

障がい者の補助は増税で影響を受けないように

4月からの消費税8%への増税が実施され、市民生活は大変です。

中でも、きびしい暮らしを余儀なくされている障がい者の方に影響を及ぼさないよう、本市の独自策であるタクシー代補助制度の上限額の引き上げを行うべきです。

健康福祉部長 本市独自の事業であるタクシー代補助制度等は、他市と比較しても劣ることなく、限られた財源の中から他の事業とのバランスなどを考慮し実施しており、引上げは難しいと考えています。

市内河川の治水工事は河畔林保護との両立を

柳瀬川と空堀川の合流地の改修工事を都は計画しています。市議会では、保護団体提出の河畔林の保護を求める請願が採択されましたが、都との協議の結果はどうなったのか伺います。

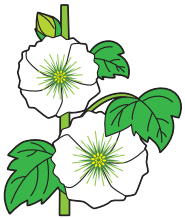
都市整備部長 可能な限り現状を保全し、新合流点工事後に生まれる余地の雑木の再生等、本市と環境団体の主導で実施できる等の了解を都

よりいただきました。工事の施工は集中豪雨による水害の治水対策として、その必要性、緊急性を総合的に考え、やむを得ないと判断しました。

より身近な場所に集会所の設置が必要です

高齢化が進む中、身近な場所に、気軽に利用できる地域の集会所設置が求められています。集会所は、住民要望があり必要性を訴えてきましたが、本市は、「学童クラブの建替え時に検討する」と答えています。また、スポーツや趣味、レクリエーションの場として、旭が丘、下宿を初め、各地域で、多くの方の居場所づくりとして集会所の抜本的な増設計画を求めます。

企画部長 公共施設の再整備は、維持管理費や、修繕費等の費用と、使われ方や稼働率、また、今後どのようなタイプの施設が求められているかを検証しなければなりません。新たな公共施設の建設は難しく、市民に理解いただくための情報発信をしていく必要があると考えています。



日本共産党

原田ひろみ

市職員の非正規化、民間委託の推進は中止を

公務労働を担う市職員が嘱託など非正規に置き換えられ、民間委託も増えています。賃金格差は優秀な人材を逃し、行政サービスの質低下にもつながります。

経済発展の土台は雇用であり、官製ワーキングプアの拡大は地域経済にも悪影響です。正職員を適正に配置し、非正規化は中止すべきです。

総務部長 限られた人的資源の中で、行政課題や市民ニーズに柔軟に対応するため、専門的業務や窓口などの定型業務は、非常勤職員を配置しています。柔軟で効果的に運用するために民間委託も必要であり、今後も多様な職員体制の中で効果的・効果的な市政運営を務めていきます。

待機児解消のために市立第5保育園は存続を

今年度、認可保育所の新設などで、114人分の定員が拡大されましたが、依然として待機児が多い現状です。来年度も定員増の計画はありませんが、解消は難しいのではないのでしょうか。待機となれば仕事を辞めざるを得

ないなど実態は深刻です。今年度末で廃止予定の第5保育園を存続させ、本気で待機児解消に取り組むべきです。

子ども家庭部長 待機児童の解消を図るべく、清瀬ごろんこ保育園の増築、上宮保育園の建替え及び野塩地区への新設保育園の設置により定員増を図る計画です。第5保育園は、計画通り平成26年度末での廃園に向けての事務を進めさせていただきま

清瀬駅南口地域に児童館を

地域における子どもの安全な居場所には必要であり、その一つとして児童館は重要な施設です。中高生の居場所としても必要です。

ころぽっくるには遠い駅南口地域に児童館の設置を求めます。

子ども家庭部長 子どもの安全安心な居場所づくりを大切に考え、小学校ごとの放課後子ども教室や児童センターを中心とした児童館事業など、子育て支援の充実に努めています。児童館新設は、場所の確保や建設に多額の費用が見込まれることから現在のところ難しいと考えています。



公明党

鈴木たかし

郷土教育として「清瀬学」 講座の開設を

市民の皆様にも、より清瀬を愛し、我が市に誇りをもって頂くために、郷土教育を「清瀬学」と名付け、「文化や民族的見地含めた歴史」、「医療の町、研究機関の町、農の町、自然の町としての特徴」など、小中学校や市民講座として開講してはいかがでしょうか。

自転車走行ルールの徹底を

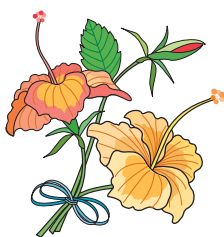
昨年12月に改正された道路交通法により自転車走行ルールも精査されました。このルールを徹底すると共に、特に歩道での走行マナーの徹底、又、けやき通りに自転車の左側走行を示す、「自転車ナビマーク」をペイントしてはいかがでしょうか。

学童クラブの開所時間の延長を

都市整備部長 歩道走行時の自転車のルール等呼びかける看板の設置、中学校を対象としたスケアードストリートという自転車事故の再現による交通安全教室を実施しています。今後も自転車走行ルールの啓発活動を交通管理者の協力も得ながら徹底していきたいと考えています。

親の労働時間に合わせて、現状平日18時15分までの学童クラブの開所時間を延長したり、また4年生以上の児童も預けられるようにしてはいかがでしょうか。

子ども家庭部長 放課後児童健全育成事業の国基準は、学校休業日は1日8時間以上、休業日以外は3時間以上を原則にその地域の保護者の就労時間や小学校の授業の終了時刻等を考慮して定めます。二週調査の結果等を踏まえ、清瀬市子ども・子育て会議で検討を考えています。



公明党

斉藤あき子

認知症の方へ反射ステッカーの配布を

進みゆく高齢社会にあって大切なことは社会全体で認知症の方を見守る環境整備です。一人で外出し帰りがわからなくなるなど、外出に不安や心配のある認知症の方に、履物に貼る反射ステッカーの配布を要望します。市民が声掛けや保護が必要か判別できます。見解を伺います。

子育てを応援する安心メールの導入を

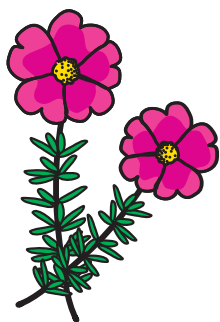
安心、安全な出産・育児に向けた子育て応援メールの配信を始めた自治体があります。妊娠中のアドバイスや、産後には孤独な子育ての予防解消をめざし、子育て情報が0歳から3歳のお誕生日まで充実して届きます。子育て安心メールの導入について見解を伺います。

健康福祉部長 妊婦や乳児家庭への全戸訪問事業、各種健康教室を初め、電話や窓口の子育て健康相談や市報、

花のボランティア登録制度について

ホームページなどを通じて、様々な子育ての情報提供をしています。今後は、より身近に情報をキャッチできる手段のメールで子育てを応援、予防接種のお知らせも考えていきます。

道路脇の本市の未利用地に、ボランティアでお花を植え、育てている方々がいらっしやいます。大変ありがたいことです。そこで、今後もちがたく活動して頂くためにも、花のボランティア登録制度を要望します。



*印は、16ページに用語の解説があります。



公明党

西畑 春政

学校給食のアレルギー対策について

公立小中学校が把握する食物アレルギーがある子どもは昨年8月現在で45万3962人、全体の4.5%。12年12月には調布市で給食後に小学5年生の女児が死亡し、この事件を教訓に、マニュアルの見直しや独自マニュアルを作る動きが広がっています。本市の現状と対策を伺います。

教育部長 アレルギー対応の確定手順、調理、配膳、緊急対応などの基本的な流れを「清瀬市立学校における学校給食の食物アレルギーの対応について」としてマニュアルにまとめました。これについては随時見直しを行い、学校全体の取り組みとしていきたいと思えます。

低所得の高齢者向けの住宅確保について

急増する高齢者を、どう支えていくのか。介護が必要になっても安心して暮らせる「住まい」の整備が課題。NPO法人の「自立支援センターふるさとの会」は、低所得の高齢者が入居でき、安否確認やサービス利用など生活支援も行った住宅生活を

支えています。検討を求めます。

健康福祉部参事 今年度、市内には新たに認知症グループホーム、サービス付高齢者住宅が整備されます。

また「低所得高齢者等の住まい・生活支援モデル事業」は全国16箇所を想定したモデル事業のため、事業効果等を情報収集し、今後の検討と考えています。

ロタウイルスワクチンの公費助成について

ロタウイルス胃腸炎は、感染症胃腸炎で殆んどの子どもが5歳までに経験。毎年約80万人が受診し、約1割が入院、約10人が死亡しています。国内では平成23年11月からワクチンの接種が開始されたものの、合計2回で約3万円の費用が掛かります。

健康福祉部長 現在、国や都からの財政的支援がなく独自に助成を行うのは難しいと考えています。感染症の予防対策としては小平保健所と連携し感染拡大や重症化を防ぐ為に速やかにホームページ等で情報提供すると共に母子保健事業の機会を捉え、知識の普及啓発を図っていきます。



公明党

西上ただし

地域コミュニティの醸成を進めるために

地域課題の解決に向けては、住民主体のまちづくり・コミュニティの醸成が必要です。本市におけるコミュニティ醸成の取り組みと地域別の課題解決に向けた本市のサポートについて、伺います。

企画部長 お互いに顔のわかる範囲をコミュニティの単位とし小学校区ごとに円卓会議の取り組みを進めています。円卓会議を推進することで、

地域解決の主体となり得るコミュニティの形成を支援しています。市民活動センターでは、自然保護や福祉等、市民活動支援も実施しています。

人口減少社会に備えたまちづくりについて

人口減少社会に向かっていく中、子どもを産み育てやすい環境づくりなど各自自治体で特色ある取り組み・対策が必要です。若い世代の定住を進める為、子育てしやすいまち清瀬をもっとアピールすべきです。駅やけやきホールなどに看板の設置を求めます。

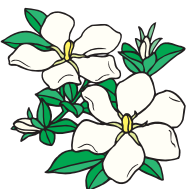
企画部長 ホームビジター事業等

元気で長生き人生を送るために

細かい子育て支援事業を展開しています。また、赤ちゃんのチカラプロジェクトや婚活事業も継続して取り組みたいと思います。意識調査や市民フォーラム等、若い世代のニーズや意見の把握に努め、効果的な施策を展開していきたいと思えます。

和光市は、全高齢者の日常生活圏域ニーズ調査に基づき介護予防に重点を置く中、切れ目のない支援で自立支援のマネージメントを進め、要介護率の低下などの成果を上げています。2025年に向け、日常生活圏域ごとにブランドデザインを描き、きめ細やかな支援が必要です。本市の方針と取り組みを伺います。

健康福祉部参事 第6期介護保険事業計画の策定において、地域の特徴をブランドデザインに据えるとともに、国のガイドライン、東京都の支援計画などの整合性を図る中、本市の地域特性、介護資源を最大限に生かす計画を策定してまいります。



*印は、16ページに用語の解説があります。



風・生活者ネット

石川 秀樹

コスト意識を市民も持つべき

行政のやることは無料で当然という意識が市民の中にもある。しかし当然ながら多大なコストがかかっており、それは税で賄われている。不特定多数に無料で行う行政サービスが多いほど、税の最大の役割である富の再分配機能は低下し、福祉に振り向ける財源が減る。コスト削減と改革についての理解を市民にも求めていくべきだ。

企画部長 コスト意識を持ってもらうには、本市が行政運営の内容と、それに係るコストを市民にわかりやすく知らせることが重要です。適正な受益者負担の考え方を議論するには、行政の説明責任を果たすとともに情報の共有化を図り市民の理解を得て進めていきたいと考えています。

金山公園の駐車場は有料化するべき

春から秋にかけて金山橋下周辺の川原では、多い時では数百人の人がバーベキューを楽しんでいる。しかし市外からの利用者が多く、ごみ処理のマナーは必ずしも適切ではない。

金山公園の駐車場を有料化し、ごみ処理の費用などを受益者負担で行うべきだ。

都市整備部長 都はバーベキューのごみの不法投棄の問題が各地で社会問題化していることもあり、駐車場の収益を公園の維持管理やごみ処理として支出する方法であれば可能という見解に変化してきました。しかし契約方法等課題が多いことなどから今後も、都と協議していきます。

清瀬の教育の課題を新教育長に問う

清瀬の学校教育の現状について、何が課題であると認識され、それらの課題の解決のために具体的には、どのような取り組みを行っていくつもりか。

教育長 「教育とは終わりなき永遠の営み」という言葉があり、常に改善を図らなければならないと理解しています。従って学力、体力、健全育成の全てに課題があり、教師の指導力、家庭・地域の教育力向上を図る取り組みを研究、実践、検証し改善を図る必要があると考えています。



風・生活者ネット

斉藤 実

「新教育長の教育に対する考え」について

3月定例会では学力の観点から質問をしましたが、学校教育は多岐にわたり大変重要な課題が数多くあると思います。

そこで、新教育長に教育に対する理念や思いを伺います。

教育長 よいまちは、よい学校をつくる。よい学校は、よいまちを生む。これまでの当たり前のことが当たり前にできる教育の実現を図ると共に、これからは、地域や市民の方々と協働しながら、よい学校、よいまちを市長とともに、つくっていききたいと考えています。

「教育の具体的な今後の進め方」について

いじめの問題や学力・教師力の向上など取り組まなくてはいけない数多くの課題が今の学校にはあると思います。

これらの課題は一朝一夕には解決できないが大変重要な課題だと思つて学校はもとより家庭環境も含めて総合的に解決をしなければならぬと思う。教育長の見解を伺います。

教育長 教育は、育むべき力に優先順位を付けたり、取捨選択することは馴染みません。すなわち、学力向上もいじめ問題も同時に改善を図っていかなければなりません。多様な課題を関連付けで解決するとともに、学校の多忙化解消に取り組み、教師の課題解決を支援して参ります。

「秋津駅周辺整備」について

なかなか全体的には先が見えない秋津駅周辺ですが、宅地開発や保育園の新設など少しは環境が変わる可能性が出てきました。

それとともに市長が目指す「世界医療遺産」登録のバックアップにもなりうる遺跡の発掘も行われたようですが、その結果と今後の周辺整備について伺います。

都市整備部長 秋津駅北側は発掘調査の区域を含め、現在3か所の宅地開発事業が行われており、約6千600平方メートル44区画の宅地が整備される予定です。南口は東村山市施行の秋津駅南口広場の整備が、現段階では事業化に至っていませんが、今後の動向を注視したいと思つています。



風・生活者ネット

宮原 理恵

長期的な子育て支援政策を問う

急激な人口減少を食い止めるために、有効な少子化対策が必要。'09年本市「次世代育成支援行動計画」で掲げた「二丁ズの多様化」や「利用者の視点の反映」は取り組んだか。今年4月の保育料値上げについて保護者への説明が不十分。それらの検証を踏まえて今後のビジョンを問う。

子ども家庭部長 保育二丁ズの多様化への対応では、市内私立幼稚園の延長保育、私立保育園新設等による定員増及び病児・病後児保育の実施などの拡充を図りました。子ども・子育て支援事業計画と次期次世代育成支援行動計画の2つの計画を着実に実施してまいります。

子ども子育て支援新制度に向けた計画について

認可保育園の拡充を求める。認可外施設についても、本市として基準を作り運営に責任を持つことを求める。学童クラブについては「6年生まで」「指導員の処遇の改善」など大幅な拡充が決まっている。現状追認ではなく、保護者の二丁ズと国の基

準を満たす計画を求める。

子ども家庭部長 児童福祉法の一部改正により学童クラブの対象児童が

「小学校に就学している児童」とされましたので、今後、受け入れをどのように行っていくのか、育成時間も含めて清瀬市子ども・子育て会議の中で検討していきたいと考えています。

近隣市の福祉施設を利用しやすい仕組みを

障害を持つ市民が他市の施設を利用する際、本市の独自事業（日中一次支援）の場合、高額な自己負担が生じるが、本市がその施設と委託契約を結べば利用しやすくなる。障害の種類や程度が様々な一方、市内に多様な施設を備える事は限界がある。広域的な福祉計画を求める。

健康福祉部長 今年度から始まる第4期障害福祉計画を策定する中で、

このような相談なども引き続き各委員に提案していきたいと思えます。これから計画策定が始まりますので、市民やパブリックコメントなどからも意見を集めて、検討していきたいと考えています。



風・生活者ネット

小西 みか

子どもの人権を尊重したい じめ防止基本方針に

厳罰化で、いじめはなくなるらない。いじめを受けた子どもに寄り添うことはもちろんだが、いじめを行った子どもにも生育過程や家庭環境などの背景に目を向け、いじめの要因を取り除きたい。未然防止には、子ども社会のことは子どもたちで解決する取り組みが必要だが、見解を伺う。

教育部参事 基本方針は、いじめの子、いじめられる子、傍観する子、それぞれの立場の尊厳が守られることを重視しています。学校は、いじめられている子どもを全力で守る。いじめた子どもは厳しく指導し自らの行為に責任を自覚させる等、組織的に進めていきたいと考えています。

子宮頸がんワクチンの有効性やリスクの周知

子宮頸がん予防は定期検診が欠かせない。ワクチンの案内文書では、ウイルス予防効果は最高70%にもかかわらず、ほぼ防げ、接種後の痛みや腫れの出現は少なくない、数日で治まる、と3回接種しなければ効果がないことが強調されている。他市

では全接種者への副反応調査の結果、症状を自覚した人がかなりいる。本市における調査の考えを伺う。

健康福祉部長 予防接種の個別通知の際予診票は送らず、ワクチンの効果、検診の重要性、副反応等の文書を送付しています。接種希望者は窓口に来ていただき再度、副反応の説明をし、リスクの情報等も提供します。副反応については清瀬市医師会と更に連携して情報収集していきます。

地域防災計画の具体化への 早急な取り組みを

トイレは震災後すぐに必要なうえ、整備状況がその後の周囲の衛生状態に大きく影響する。マンホールトイレの設置や雑排水・雨水利用と共に、水が使用できない場合のおがくずトイレなども検討されているか。

総務部長 マンホールトイレは、市立小中学校に15基、仮設トイレ等87

基整備しており、その他携帯式トイレを千個備蓄し、複層的な体制としています。今後は、事業所・家庭に3日分の災害用トイレの備蓄や生活用水の確保等、トイレに関する知識の普及や訓練等に努めてまいります。

*印は、16ページに用語の解説があります。

提出された議案等の結果

第2回定例会(6月)で審議された議案等の結果

(○：賛成 ×：反対)

市長提出議案						
議案番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
議案第32号	専決処分の報告について(清瀬市市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	承認
議案第33号	専決処分の報告について(清瀬市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	承認
議案第34号	専決処分の報告について(清瀬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	承認
議案第35号	清瀬市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第36号	清瀬市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
議案第37号	清瀬市道の路線の認定について	○	○	○	○	承認
議案第38号	清瀬市立清瀬第三小学校北校舎大規模改造工事(建築)請負契約	○	○	○	○	可決
議案第39号	清瀬市立清瀬第二中学校北校舎大規模改造工事(建築)請負契約	○	○	○	○	可決
議案第40号	清瀬市オンブズパーソンを選任について	投票による				同意
議案第41号	清瀬市オンブズパーソンを選任について	投票による				同意

議員提出議案						
議案番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
議案第5号	軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書	○	○	○	○	可決
議案第6号	集団的自衛権行使のための憲法解釈の変更に反対する決議	×	○	×	○	否決
議案第7号	原発の再稼働に反対する意見書	×	○	×	○3 ×1	否決
議案第8号	消費税率10%への引上げの中止を求める意見書	×	○	×	○1 ×3	否決
議案第9号	東京都シルバーパス制度の改善を求める意見書	×	○	×	○	否決
議案第10号	医療・介護総合法案による介護保険制度の見直しを行わないよう求める意見書	×	○	×	○	否決
議案第11号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書	○	○	○	○	可決

陳情						
陳情番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
陳情第3号	医療・介護総合法案による介護保険制度の見直しを行わないよう国に対して意見書を提出していただくこと	×	○	×	○	不採択
陳情第4号	道徳の教科化に反対する陳情	×	○	×	○	不採択
陳情第5号	原発の再稼働に反対する意見表明についての陳情	×	○	×	○3 ×1	不採択
陳情第6号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情	○	○	○	○	採択
陳情第7号	働く親を持つ子どもたちのために学童保育受け入れ環境の拡充を求める陳情	×	○	×	○	不採択
陳情第8号	よりよい学童保育のために「子ども・子育て支援」新制度に向けて学童保育の拡充を求める陳情	×	○	×	○	不採択

報告						
報告番号	件名	清瀬自民ク	共産党	公明	風・ネット	議決結果
報告第2号	平成25年度清瀬市繰越明許費繰越計算書	—	—	—	—	了承

※表中の会派の名称及び議員名

清瀬自民ク=清瀬自民クラブ(森田正英・渋谷けいし・渋谷のぶゆき・石井秋政・友野ひろ子・中村清治・齊藤正彦 7人)

共産党=日本共産党(原田ひろみ・深沢まさ子・佐々木あつ子・宇野かつまる 4人)

公明=公明党(鈴木たかし・齊藤あき子・西上ただし・西畑春政 4人)

風・ネット=風・生活者ネット(小西みか・宮原理恵・石川秀樹・齊藤実 4人)

※()内の数字は、会派所属議員数を示したものです。ただし、清瀬自民クラブについては、議長を除いた数字です。

「雑木林の再生事業」 オオムラサキを視察

6月18日、清瀬市議会は、雑木林再生事業と並行して取り組んでいる「オオムラサキ」の飼育事業を視察しました。

国蝶「オオムラサキ」は、エノキを食樹とする蝶で、冬は幼虫が木から下りてきて、枯葉の裏で越冬をするという習性を持っています。かつては、関東平野の雑木林で多く見られ、清瀬市内でも、昭和40年頃まで生息していたと云われています。その後、都市化による雑木林の減少に伴って数が減り、現在は環境省の準絶滅危惧種に指定されています。そうした現状から、市が萌芽更新



台田の杜に於いて

などの雑木林再生事業と並行して日の出町の廃棄物処分場跡地などから譲り受けた「オオムラサキ」の幼虫の飼育事業に取り組んできました。

3年目を迎えた今年6月、初めて清瀬で生まれ育った美しい蝶が「台田の杜」のケージの中で、元気に飛び交っています。

その姿を直接観察し、雑木林保存の重要性についての理解を深めるとともに、かつて「オオムラサキ」が生息していた雑木林の再生への取り組み状況についての視察を行いました。



ケージで飼育されているオオムラサキ

※国蝶（こくちょう）

国蝶「オオムラサキ」は、法律や条例で規定されたものではなく、昭和32年に日本昆虫学会が「日本における代表的な大型美麗種」という観点からの意見が強く、決められたものです。

柳瀬川右岸5号雨水 幹線整備工事を視察

柳瀬川右岸5号雨水幹線の整備計画は、国の指導に基づき1時間当たり50mmの降雨に対応できるよう、柳瀬川を起点としてけやき通りまでを平成25年度から28年度までの4か年で整備する予定です。

清瀬市は、台風やゲリラ豪雨などにより、大量の雨が道路上にあふれ出した際の道路冠水や浸水を防ぐため、現在、公共下水道として、道路の下に雨水幹線の整備を進めております。清瀬市議会は、7月22日、中里六丁目で行っているこの工事を視察しました。

この工事は、台田団地ほぼ中央付近の柳瀬川に新たな放流口（吐口）を設け、それを起点として、柳瀬川通りとの交差点まで延長約380mに公共下水道として雨水幹線を整備するもので、雨水管の敷設は、最大で地下約13mの位置に埋設するため、その深さまで立坑を築造し、そこから地中を掘る機械を先頭に、管を押し込みながら敷設する推進工法で進めています。

平成27・28年度の2ケ年では、柳瀬川通りから中里五丁目と旭が丘一

丁目の境に位置する道路に沿って、大林組技術研究所西側のけやき通りまで雨水幹線を整備するという計画です。

雨水幹線の整備完了後は、既存の路面排水管を有効活用しつつ、必要な箇所には改築を行っていきます。

このことにより、下清戸二・四丁目付近のけやき通りや中里五丁目地域の介護老人福祉施設周辺での道路冠水や浸水の軽減が図られるほか、旭が丘交番付近の路面排水管への雨水流入抑制が図れます。



工事現場（立坑前）に於いて

本会議

議員全員で構成する会議が本会議です。提出された予算や条例などの議案について、議会の議決、同意、決定、承認、採択など市議会としての最終的な意思を決定します。

本会議には、定期的に行われる臨時例会と、必要に応じて開かれる臨時



清瀬市議会議場に於いて

会があります。清瀬市の定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。

委員会

市議会で行う案件は幅広い分野にわたっており、大変複雑です。そこで、いくつかの部門に分かれて、専門的に詳しく審査するほうが効率的なため、委員会が設置されています。

委員会には、3つの常任委員会と議会運営委員会及び必要に応じて設置される特別委員会があります。

常任委員会

市の組織を大きく分けた部門ごとに市の事務に関する調査及び議案、陳情などの審査を行うための常設する委員会です。

清瀬市議会では3つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属しています。委員の任期は2年となります。

特別委員会

必要に応じて、特定の事件や重要な問題を審査するため、本会議の議決によって特別に設ける委員会です。その事件や問題の審査が終われば委員会は廃止されます。清瀬市では現

名称	所管
総務文教常任委員会 (定数7人)	計画策定・予算など行財政、市民参画・男女共同、市税の課税・徴収、住民票・戸籍簿、防災・消防・防犯、農商工業・消費者対策、学校教育、生涯学習スポーツ、市職員、選挙、監査、その他の常任委員会に属さない事項
福祉保健常任委員会 (定数7人)	国民健康保険、後期高齢医療保険、生活保護、障害者支援、介護保険など高齢者支援、民生児童委員・保護司、市民検診・予防接種・介護予防など健康推進、保育園・幼稚園・学童クラブ・児童センターなどの子育て支援
建設環境常任委員会 (定数6人)	道路（照明・ガードレール・カーブミラー）、上・下水道、公共交通（市営駐輪場）、緑地（街路樹）保存・育成、公園管理、ごみ収集、公害対策、都市計画、開発行為の同意協議

在、新庁舎建設耐震化特別委員会が設置されています。また例年3月に予算特別委員会、9月に決算特別委員会を設置しています。

議会運営委員会

円滑な議会の運営を期するため、議会運営のあらゆる事柄について、協議、意見調整を図ります。そのほかに市議会だよりの編集、議会関係の条例や規則など協議する委員会です。定数は8人で、2人以上の会派から選出します。委員の任期は2年となります。

議員の寄附は禁止されています

有権者が寄附を求めてもいけません

(東京都選挙管理委員会資料より)

お中元・お歳暮

結婚祝い・香典

これらの行為は
全て
禁止です
!

落成式・
開店祝いの花輪

病気見舞い

葬式の花輪・供花

運動会や
スポーツ大会への
飲食物の差し入れ

町会の集いや
旅行等の催し物への
寸志や飲食物の
差し入れ

入学祝い・卒業祝い

お祭りへの
寄附や差し入れ

15 平成26年8月15日 きよせ市議会だより

市議会日誌

7 8	25	19	18	17	13	12	11	6 9	30	29	28	22	21	5 20	16
兵庫県西脇市議会（総務文教常任委員会）が「公共施設の管理と運営」	各派代表者会議 議会運営委員会 新庁舎建設耐震化特別委員会 各派代表者会議 議会運営委員会 本会議（最終日）	建設環境常任委員会 各派代表者会議 議会運営委員会 本会議（最終日）	オムラサキを視察	清瀬市議会が「雑木林再生事業」をオムラサキを視察	建設環境常任委員会 各派代表者会議 議会運営委員会 本会議（最終日）	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議（最終日）	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議（最終日）	各派代表者会議 議会運営委員会 本会議（最終日）	三多摩上下水及び道路建設促進協議会 理事会及び総会 狛江市議会（会派 日本共産党）が「けやきホールのリニューアル」について視察	多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会	多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会	多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会	多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会	新庁舎建設耐震化特別委員会 各派代表者会議 議会運営委員会	新庁舎建設耐震化特別委員会 各派代表者会議 議会運営委員会

26	19	18	17	11	10	9	8	5	4	3	2	9 2	8 11	31	30	29	24	22	17	14	
本会議（最終日）	決算特別委員会	決算特別委員会	議会運営委員会	建設環境常任委員会	福祉保健常任委員会	総務文教常任委員会	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（初日）	本会議（初日）	東京都市議会議長会理事會及び総会	東京都市議会議長会理事會及び総会	東京河川改修促進連盟総会及び促進大会	多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会	多摩六都科学館組合議会議員研修会	多摩六都科学館組合議会議員研修会	清瀬市議会が柳瀬川右岸5号雨水幹線整備工事を視察	昭和病院組合議会第1回臨時總會	昭和病院組合議会第1回臨時總會

第3回定例会の 開会予定

平成26年清瀬市議会第3回定例会を9月2日（火）から9月26日（金）まで、会期25日間に行われ開会する予定です。

◇日程（案）

9 2	本会議（初日）
4	本会議（一般質問）
5	本会議（一般質問）
8	本会議（一般質問）
9	総務文教常任委員会
10	福祉保健常任委員会
11	建設環境常任委員会
17	議会運営委員会
18	決算特別委員会
19	決算特別委員会
26	本会議（最終日）

用語の解説

- * **子ども・子育て支援新制度**…子育て中のすべての家庭を支援する制度。「認定こども園」の普及、多様な保育の確保により待機児童の解消の取り組み、地域の様々な子育て支援の充実を図る。平成27年4月スタート予定。
- * **OECD**…経済協力開発機構の略。34か国が加盟。
- * **ワークショップ**…専門的な技術やアイデアを試験的に実施しながら検討を行う研究会やセミナーのこと。
- * **パブリックコメント**…公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公に意見・情報・改善案などを求める手続きをいう。その

- 結果を反映させることによって、よりよい行政を目指すものである。通称パブコム。
- * **アイデンティティー**…自分が自信を持っていること。自分自身のよりどころ。
- * **地域包括ケアシステム**…地域に住んでいる方のニーズに応じて「福祉サービス」や「医療サービス」等を、その地域の事業者が連携して、一体的・体系的に提供する仕組み。
- * **スケアードストレート**…恐怖を実感することでそれにつながる危険行為を未然に防ぎ、交通ルールを遵守することの大切さを体験させる教育方法。
- * **ホームビジター事業**…子育て困難な状態

- になってから支援するのではなく、家族に回復力がある状態のうちに早期に支援することで、保護者の子育て意欲を高め子どもの安定した地域での家庭生活を保障し、子ども虐待の予防・防止につながることを目的とする事業。ホームビジターが訪問し、保護者の話を聞き、家事・育児と一緒に取り組む。
- * **ランドデザイン**…大規模な事業などの全体にわたる壮大な計画・構想。
- * **雑排水**…家庭から出る排水のうち、トイレからと雨水以外の排水のこと。具体的には、洗面、洗濯機、浴室、キッチンなどからの排水をさす。



市議会の会議録は市のホームページでご覧いただけます。

清瀬市議会事務局

清瀬市中里5-842 TEL (042) 497-2566(直通) FAX (042) 495-1189

清瀬市ホームページ <http://www.city.kiyose.lg.jp/>



問い合わせ